

第54回 中小企業問題全国研究集会in三重

～理念実現のため激動時代の潮流に乗れ～

MIE
DOYU

加速
結束
ReBorn

ANNIVERSARY

3/7 → 8
2024 木 金

13:00開会

12:00閉会

会場：三重県総合文化会館

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地

会費：15,000円（交流会費・宿泊費別）

25,000円（交流会参加の場合）

※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため、課税仕入れにはしないようにお願いします

主催

中小企業家同友会全国協議会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-13
岩本町寿共同ビル3F
TEL：03-5829-9335

設営

三重県中小企業家同友会

〒510-0066 三重県四日市市南浜田町2番14号
水谷ビル3F
TEL：059-351-3310



第54回中小企業問題
全国研究集会
公式Webサイト

2日目 記念講演



(株)アクアイグニス ヴィソン多気(株)
代表取締役

立花 哲也 氏

設立 2005年9月26日
社員数 150名 パート・アルバイト350名
資本金 9,000万円
年商 20 億円 (VISON 含まず)
URL <https://aquaagnis.jp/>
事業内容 温浴・飲食・宿泊の複合リゾート施設

食と DX による地方創生

～地域社会の課題を解決するための新しいアプローチ～

国内の地方が抱える少子高齢化の課題に対し、「食」と「デジタル」テーマに「伝統」と「革新」を融合させた新しい地域経済の活性化に取り組み始める立花氏。

2021年にオープンした「VISON多気」は、「食」をテーマにSDGsや先端のデジタル技術を取り入れ、見学・体感などができる体験型施設となっており、ガストロノミーツーリズムによる需要も生み出しています。こうした活動は他地域へと広がり、各地域のリソースを活かした形で新たなプロジェクトが始まっています。

第54回中小企業問題全国研究集会 実行委員長

(株)ヒラマツ 代表取締役 平松 洋一郎

私は、三重同友会30周年実行委員会のメンバーに加えて頂いた事を機に、それから10年理事として同友会に関わってきました。当時の実行委員長だった西村代表理事をリーダーとして三重同友会の40周年を全研in三重で盛り上げたい！とすごくシンプルな想いのもと色々な人を巻き込み、「前例が無いからやる！やるからには全力でやる！」ことを共通の想いとして実行委員会を重ねてきました。

コロナ禍の影響や長引くウクライナ問題などにより、多くの人が先を見通せない不安を抱えている状況だと思いますが、我々経営者はいかなる環境の変化があろうと会社を維持し発展させなければいけない責任があります。

今こそ、経営者の責任を自覚し実践するために、三重から全国へ人のつながりを広げ、古くなったものを作り替えて常に若々しく永続していく「常若（とこわか）」の精神（伊勢神宮の遷宮に倣う考え方）で新たな時代を切り拓いていきましょう！

多くの経営者と学び多き時間が過ごせるよう実行委員一同全ての叡智を結集し、全国の皆さまを歓迎いたします。

中同協としての開催意義

- (1) 時代の転換期にある今、時代認識を深めるとともに、平和で持続可能な社会をつくるために中小企業に期待されている役割について学びを深める機会とします。
- (2) 激動の時代に対応するために、経営指針成文化と実践、共同求人、社員教育、障害者雇用などを一体として取り組む「人を生かす経営」の総合実践の企業づくりを学び合う機会とします。
- (3) 中小企業憲章と中小企業振興条例の理念を広げ、経営環境の改善に向けて研究者や関係機関との連携を強め、中小企業問題解決の方向を明らかにする機会とします。

三重同友会としての意義

三重で開催する全研は、新型コロナやウクライナ問題などによる閉塞感から抜け出し、新しい時代・社会・パラダイムへと転換していく中、人を生かす経営と常若の精神をもとに変革と創造に取り組み、いつの時代も生き生きと存在し続ける企業・地域・同友会を目指します。

①【企業づくり】の視点

「常に新たに、日々新たに」の『常若の精神』をもとに、古くなったものを作り替えて常に若々しく、いつの時代にも生き生きと存在し永続する企業を目指す場とします。

②【地域づくり】の視点

地域の社会経済の担い手として雇用の創出と納税という社会的責任を果たしつつ、誰もが不合理な格差のない環境で、「人間らしく学び、働き、活躍できる地域社会」の実現を目指します。

③【同友会づくり】の視点

三重同友会40年の歩みと成果を共有し、全研開催を通して、全国会員との学びの交流による連帯感を高め、三重における同友会運動のさらなる発展の機会とします。

SUBCOMMITTEE 1日目 分科会

第1分科会



情勢認識【中同協】

青木 雅生 氏

三重大学
リカレント教育センター 教授

滋賀県出身の経営学博士。2002年立命館大学大学院修了。現在、三重大学人文学部教授。中小企業家同友会と連携し、経営指針作成や中小企業憲章運動に関わる。同友会の理念に共感し、経営学の新たな課題を研究中。

中小企業を取り巻く情勢と人を生かす経営

～なぜ情勢を学ぶのか、経営にどう生かすのか～

中小企業を取り巻く経営環境はどの時代においても厳しい中、「いかに社会が変化しようとも必要とされる価値を提供し続けられる」経営ができるようになることを目指すことが求められています。情勢を学び、何を経営に生かすのか、そもそもなぜ情勢を学ぶことが必要なのか、ということを考えて、現在の情勢から同友会の提唱する「人を生かす経営」が今こそ求められていることについて、共に学び深めたいと思います。

第2分科会



経営指針【三重】

鈴木 成宗 氏

(有)二軒茶屋餅角屋本店
代表取締役社長

設立 1994年6月24日
社員数 24名 パート・アルバイト89名
資本金 5,800万円
年商 11.77億円
URL <https://nikenjajamochi.jp/>
事業内容 食料品製造販売(ビール類、生菓子、味噌、醤油)、飲食店経営

好きこそもの上手なれ

～発酵野郎の研究開発型人生～

1575年(天正3年)戦国時代創業の老舗餅屋の息子(21代目)が、微生物好きが高じて、伊勢でクラフトビールの製造を始めました。老舗の餅屋がビール?前例が無い等、冷ややかな声も少なくなかったです。夜行バスで東京出張する時代も経て、今では世界でも評価されるビールメーカーへと急成長。その背景には、社長の想いに共感した優秀な人材が全国から集まり、全社員経営の実践がありました。

第3分科会



人を生かす経営の実践【富山】

荒木 信幸 氏

(有)荒木商会
代表取締役

設立 1956年4月1日
社員数 30名 パート・アルバイト14名
資本金 300万円
年商 6.6億円
URL <https://www.araki-syoukai.co.jp/>
事業内容 金属スクラップ、産業廃棄物収集運搬及び処分業

誰もが安心して働ける社会を目指して

～ダイバーシティ経営はきれいごとではない!～

祖父から会社を承継し、2代目としてリサイクル業へ転換を図り、19年目を迎えます。数多くの失敗を乗り越え、学びと出会いを通して、障害者雇用をきっかけにダイバーシティ経営にたどり着きます。『誰でも必ず輝くものがある』ことに気づき、強みを引き出す会社づくりに取り組むことで、社内の雰囲気や定率、業績までもが大幅に改善しました。社長としての姿勢の変化、社内実践から、国籍・年齢・性別・ハンディを問わない雇用の意義と価値について報告します。

第4分科会



人を生かす経営の実践【広島】

今津 正彦 氏

(株)アイ・エム・シーユナイテッド
代表取締役

設立 1989年8月3日
社員数 35名
資本金 1,000万円
年商 5億円
URL <https://imcu.co.jp/>
事業内容 工業用模型のオーダーメイド製造

もがきながらの新卒採用・社内改革・社員育成

～みんなの経営指針書ストーリー～

20歳の頃、親子3人で始めた会社で働き始めた今津氏。最初の5年間は辞めたいと思う毎日でした。その大きな転機となったのは14年前のM&A。会社は大きくなったものの、社長である自分と社員との間には大きな溝が生まれ、一度に大勢の社員が退社します。まさに会社はどん底。そんな時に出会ったのが同友会でした。そこから経営指針セミナーや新卒採用に挑戦、5年かけて社内の改善に取り組みます。現在、社員の平均年齢は35歳。経営指針の発表会では会社の目標だけでなく、社員一人ひとりの個人目標も共有します。「みんなの経営指針書」のストーリーです。

第5分科会



企業変革【愛媛】

田中 正志 氏

義農味噌(株)
代表取締役

設立 1973年9月
社員数 50名 パート・アルバイト25名
資本金 1,000万円
年商 11億円
URL <https://gino-miso.co.jp/>
事業内容 食品製造(味噌、醤油、ドレッシング他)

自社の強みを磨いていますか

～経営理念をつくって見えてきたこと～

近年の味噌消費量の減少や新型コロナウイルスの影響など、外部環境の目まぐるしい変化の中にあって、義農味噌が生き残って来られた理由は「変化に対応し続けてきたこと」。「私たちは、えひめの麦みそ文化を、伝承・発展させます。」という経営理念に基づき、県内の麦味噌に留まらず、全国各地の食材を活用した商品を全社一丸で開発・販売して取引先を増やしてきました。何を守り、何を変革するか。もがきながらも走り続ける田中さんの姿から学びます。

第6分科会



環境経営とSDGs【愛知】

中井 義也 氏

東陽住建(株)
代表取締役社長

設立 1979年 2月
社員数 14名 パート・アルバイト2名
資本金 2,000万円
年商 9億円
URL <https://www.toyo-ie.jp/>
事業内容 住宅建設、リフォーム、不動産・仲介事業等

いつもをもっとしあわせに

～エコを強くして、お客様に選ばれる企業に～

2022年度 中同協「同友エコ」で会長賞を受賞した東陽住建は、自社の商品・強み・地域貢献をエコロジーの視点から見つめなおし、お客様の日々が「もっとしあわせに」なることを願って環境経営を行っています。同社は、「高齢樹の東濃検」を使った地震に強い自然素材の家づくり、森林の活性化や地域イベントの開催等、多岐に渡った活動を行っています。中井氏からは、環境経営の重要性をはじめ、これからの地域社会に求められる企業像等をご報告いただきます。

第7分科会 デジタル化【宮城】



阿部 章 氏


(株)パルサー
代表取締役

設立	1989年
社員数	36名
資本金	1,000万円
年商	4.9億円
URL	https://plsr.jp/
事業内容	無人化・セルバ化機器販売事業、リース・レンタル事業、 オウンドメディア事業、デザイン事業

中小企業の現場から考えるDX

～「組織」「事業定義」「人がすべき仕事」の再定義～
 (株)パルサーは、「私たちは関わる人が幸せになれる会社をつくりたい」というミッションを掲げ、元々、ラーメン店に置く券売機の代理店販売業を生業とし、そこから自動販売機やセルフレジ、WEBメディア制作など事業の幅を広げました。中小企業のDXの最大の問題は、デジタル化/IT化が目的化し、DXの具体化まで到達しないということです。本分科会は、その問題を背景に、「うまくいきやすいケース」「うまくいきにくいケース」から、デジタル化/IT化/DXを通して「組織」「事業定義」「人がすべき仕事」の再定義に取り組んだ実践事例から学びます。

第8分科会 事業承継【鹿児島】



峯元 信明 氏

(株)ブンカ巧芸社
代表取締役社長

設立	1953年
社員数	62名
パート・アルバイト	17名
資本金	3,000万円
年商	10.5億円
URL	https://bunkakougaisy.co.jp/
事業内容	各種看板の企画・製作・ 施工・メンテナンス

カリスマからチーム経営へ

～社員と共に成長する会社を目指す～
 創業60年を機に父親から経営のバトンを引き継いだ峯元氏。現在、創業70年のブンカ巧芸社は、三代にわたり成長してきました。統率力のある先代より経営を引き継いだ峯元氏は、経営指針の成文化、共同求人や社員教育活動にも積極的に参加し、同友会での学びを一つ一つ実践してきました。事業承継を経て10年。社員と共に成長する会社を目指し取り組んできたさまざまな事例を報告し、中小企業の事業承継について考えます。



アドバイザー 松田 真一 氏

野村総合研究所
チーフコンサルタント

1989年筑波大学国際関係学類卒業(国際法)、同年野村総合研究所(NRI)入社、野村證券広報部・野村IR出向、NRIコンサルティング本部、未来開発センターなどを経てグローバル経営研究室(現職)。

第9分科会 地域資源の活用【静岡】



松葉 秀介 氏


松葉倉庫(株)
代表取締役

設立	1972年3月30日
社員数	45名
パート・アルバイト	55名
資本金	1,800万円
年商	8.5億円
URL	https://www.matsuba-soko.co.jp/
事業内容	倉庫・運送業、保育事業、太陽光発電事業

社会・地域・業界の課題を自社経営の“燃料”に変えて走り続ける物流会社の挑戦!

～えっ? 物流会社が保育園!? 課題からの逆算発想でピンチをチャンスに～
 2024年問題、燃料高騰、人材確保、環境問題、DX、事業承継…地方の物流業界を取り巻く経営環境は厳しさを増す一方です。しかし、それら多くの課題は、業種業界を越え、地域を越えた社会全体の共通課題でもあります。その全体課題に自社の課題を重ねる事で、課題は目標になり、目標が計画になり、計画がアクションになっていきます。課題の中にヒントを探し、経営者の心に秘めた夢や想いを重ね、安心して働ける企業づくりをめざします。社会と共に走り続ける経営実践報告です。

第10分科会 市場創造【岐阜】



大橋 博行 氏

(有)大橋量器
代表取締役

設立	2005年8月1日
社員数	29名
パート・アルバイト	4名
資本金	300万円
年商	2.7億円
URL	https://www.masukoubou.jp/
事業内容	木製枺、計量器、木製食器、木の器の製造・販売 masu cafeの運営

伝統の地場産業の挑戦

～枺を粋で、格好よく。枺をエンターティナーに～
 全国シェア80%を誇る岐阜県大垣市の木枺ですが、市内に11社あった製造業者も需要の減少とともに現在2社だけとなりました。枺といえば正方形ですが、同社は長方形や五角形、八角形など様々な形状にチャレンジ。それは、お客様の要求に対し「Noと言わない」と決めたからです。それに伴い技術力やノウハウも向上し、このチャレンジが今につながっています。ネットによる販売や、アンテナショップ「枺工房ますや」、「masu café」をオープンさせ、大垣ブランドの構築、認知拡大に取り組んでいます。

第11分科会 見学分科会【三重】



杉本 香織 氏

オーケーズデリカ(株) (株)菜友
代表取締役

設立	1987年4月1日
社員数	40名
パート・アルバイト	200名
資本金	5,000万円
年商	15億円
URL	https://www.oks-delica.jp/
事業内容	給食・弁当・惣菜・介護食の製造販売 OEM受託

社員最強企業のつくりかた

～社員のパワーで利益を爆増させたオーケーズデリカの「論語と算盤」～
 2代目社長だった兄の急逝により、突如3代目に就任することとなった杉本氏は、これまでのトップダウン型から、自らが「支援者」として社員を下から支える組織への変革を決意。理念とビジョンを道しるべに、とことん社員に寄り添い、信じて任せ、一人ひとりが持つ長所を最大限に活かせる環境を作り上げてきました。その結果、いまや「社員最強企業」ともいえる成長を遂げたオーケーズデリカ。そのエネルギーを現地で体感し、杉本氏の報告から、人を生かす論語戦略・利益を生み出す算盤戦略を学ぶ見学分科会です。

第12分科会 見学分科会【三重】



宮崎 由至 氏

(株)宮崎本店
代表取締役会長

設立	1951年3月1日
社員数	73名
パート・アルバイト	1名
資本金	6,750万円
年商	72億円
URL	https://www.miyanooyuki.co.jp/
事業内容	酒類並びに食品の製造及び販売

ブランディングとマーケティング

～業界慣習を打破する「正統派異端系」のブランディング～
 東京下町の居酒屋で絶大な人気を誇る「キンミヤ焼酎」。「下町の名脇役」というブランドイメージは、創業170年を超える老舗であっても業界の異端であることを厭わず、顧客ニーズに応える商品を提供しつづけることで構築されました。「老舗は革新の連続」を社是とする「宮崎本店」では、日本酒製造においても新たな挑戦が進んでいます。当分科会では、伝統と革新の混沌ともいふべき酒づくりの現場を体感し、根強い愛好家をつかむブランディングについて報告して頂きます。

(第11分科会) 検便検査の提出が必要です。参加予定者には事前に検査キットをお送りします。ご提出いただけない場合、工場見学についてはご参加いただけません。

※見学分科会(第11・12分科会)の申込締切は1月19日(金)です。
 ※希望者多数の場合、人数調整させていただきます。

開催概要

日時 2024年3月7日(木)13:00開会～8日(金)12:00閉会

会場 三重県総合文化会館 (分科会・全体会)

会費 15,000円 (交流会費・宿泊費別)

25,000円 (交流会参加の場合)

交流会【定員400名】

見学分科会交流会【定員100名】

会場 海鮮七輪炭火焼 丸五水産 (立食形式)

会場 プラトンホテル四日市

住所 津市羽所町1191-1 津チャム屋上 4F

住所 四日市市西新地7-3

※消費税法基本通達5-5-7に該当する共同行事のため、課税仕入れにはしないようにお願いします

参加申込 ご所属の同友会事務局へお申し込みください。

申込締切 2024年2月20日 (火)

※見学分科会は1月19日 (金)

※2月21日以降のキャンセルは、会費、交流会費ともに全額ご負担いただきます

スケジュール

1日目 3月7日(木)

12:00 受付開始
13:00 開会・分科会
18:00 分科会終了
※交流会に参加の方は移動
19:00 交流会開始
20:45 交流会終了

2日目 3月8日(金)

8:00 開場・受付・物産展
(三重県総合文化会館)
9:00 全体会開会・分科会報告
9:50 休憩
10:00 記念講演
11:30 まとめ
12:00 閉会・物産展(13:00まで)

見学分科会について

定員 40名 締切 1月19日(金)

第11分科会 集合場所 桑名駅 解散場所 近鉄四日市駅

第12分科会 集合場所 近鉄四日市駅 解散場所 近鉄四日市駅

※お申込み多数の場合は締切後、人数調整をさせていただきます。

第54回 中小企業問題全国研究集会 in 三重

企業名	希望分科会	第一希望		第二希望	
		第 分科会	第 分科会	第 分科会	第 分科会
ふりがな	役 職	交通手段		交流会	
氏 名		飛行機・電車・車		参加	不参加
<small>会費別途・事前申請制</small>					

※お申し込みは所属同友会事務局までお願いします。会場の関係などで第二希望の分科会になる場合もございます。ご了承ください。※本登録内容は行事運営のため中同協管理のもと参加者名簿等に活用しそれ以外には使用することはありません。

※本行事の様態を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネットで公開させていただくことがあります。参加者の皆さんの顔写真が掲載されることがありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡ください。

※2月21日以降のキャンセルは会費、交流会の代金を全額ご負担いただきます。

会場のご案内

電車ご利用の場合

近鉄名古屋駅

近鉄大阪難波駅

近鉄特急
50分

近鉄特急
1時間30分

近鉄津駅

臨時シャトルバスを
運行します
〔所用時間〕10分

会場 / 三重県総合文化会館

飛行機ご利用の場合

中部国際空港
セントレア

要予約

高速船
45分

津(なぎさまち)

タクシー
15分

〔会場住所〕

〒514-0061

三重県津市一身田(いっしんでん)

上津部田(こうづべた) 1234番地 TEL:059-233-1111 (代表)

最寄駅: 津(つ)駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)

会場へのアクセス詳細



交流会について

1日目分科会終了後、各会場にて「交流会」(参加費別途)を開催いたします。分科会報告者や全国の会員と出会い、交流を深める場として奮ってご参加ください。

三重わけもない物産展

三重の特産品の中でも、わけもない(すごい)品をご紹介します。地方ではなかなかお目にかかれない物産展です。

限定

3/8 (金)

8:00~13:00